



# のびるたけの子

12月号

令和元年 11月 29日

学校教育目標

【知】自ら進んで課題や問題に取り組む、積極的に学び続ける子を育てます。  
【徳】友達のよさを認め、自他を尊重できる子を育てます。  
【体】健康やかな心と体を育み、自他の生命や健康を大切にすることを育てます。  
【公開】社会の一員としてお互いに助け合い、社会のために行動する子を育てます。  
【開】人とコミュニケーションを通して、社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。

「人とのかかわりを通して」

副校長 杉山 波也

吹く風に冬の訪れを感じる季節となりました。休み時間、校庭に目を向けると、元気いっぱい遊んでいる子どもたちの姿がたくさん見られます。ボール遊びや鬼ごっこ、鉄棒・雲梯遊びなど、各々が友だちと楽しそうに体を動かしています。「子どもは風の子」これからもずっとそう例えられる子どもたちでいてほしいなと思います。



11月は、子どもたちが様々な人とかかわる機会が多くありました。

16日(土)に、PTA主催の「かちだっ子まつり」が行われました。何か月も前からPTAの方々を中心となって準備を進めてくださいました。当日は天気にも恵まれ、1000人以上の参加がありました。子どもたちはゲームや飲食、買い物、青空広場での読み聞かせなど、いつもの学校とは違った雰囲気を楽しんでいました。ボランティアとして参加した子は、大人と一緒に販売したり、ゲームコーナーの手伝いをしたりと、熱心に取り組んでいました。みんな笑顔でとても微笑ましかったです。



17日(日)には、ジャイカ主催、地域にあるいであ株式会社、せせらぎ公園古民家管理委員会協力の「ブチ国際交流会」が行われ、申し込みをした本校4・5・6年生の17名が参加しました。ミャンマー、スリランカ、ベトナム、ボリビア、ペルーで環境を守る仕事をされている7名の方と、国のクイズや餅つき、そば打ち見学、フリートークなどを通して、交流を図りました。最初は緊張していた様子でしたが、会の終わりには、通訳を通さずに、自分たちだけでコミュニケーションを図っている姿も多く見られました。

22日(金)には、日頃から子どもたちの登下校を見守ってくださっている「見守り隊」の方々をお招きして「感謝の集い」を行いました。見守りやインタビューの様子を映像で流したり、活動の様子を劇にしたりと、子どもたちが中心となって進めました。その後、感謝の気持ちを込めて「勝田の風」を全校で歌いました。終わりに見守り隊の方から温かいお言葉をいただき、子どもたちは嬉しそうでした。



その他にも、出前授業、小中合同清掃、幼保小交流など、多くの人とかかわりながら学ぶ機会がたくさんありました。これからも様々な人の思いや考え方にふれ、自分の生活や生き方にいかしていこうとする子どもたちを育てていけたらと思います。今後とも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。